

I 法人の概要

(1) 理念

学校法人四徳学園は、「徳風洽四海」（徳風四海にあまねく）の精神を基本として豊かな人間性と医療に関する高い知識・技術を備えた人材を養成することを理念とする。

長野保健医療大学は、「四徳」を学び、他者に共感し、自己研鑽に励むことにより、人を慈しむ心である「仁心」を醸成・涵養し、保健・医療・福祉の専門職として必要かつ十分な知識と技能を修得することにより、「妙術」を目指し生涯にわたり修練と研鑽を重ねる基礎を身に着けた人材の育成を教育理念とする。

「徳風四海に洽く」

学生が会得する知識や技能を、すべからく人類愛に基づき世界（四海）に広める気概を持って社会に貢献する

「仁心妙術」

人を慈しむ豊かな人間性と医療に関する高い知識と技能を備える

(2) 学校法人の沿革

平成 11(1999)年 6 月	長野医療技術専門学校の設立発起人会開催
平成 12(2000)年 4 月	学校設立準備室を開設
平成 13(2001)年 1 月	学校法人四徳学園設立認可 長野医療技術専門学校設置認可
平成 13(2001)年 4 月	長野医療技術専門学校開校
平成 17(2005)年 9 月	長野医療技術専門学校附属リハビリテーションクリニック 開院
平成 17(2005)年 12 月	大学院入学資格認定 高度専門士の称号付与認定
平成 26(2014)年 10 月	長野保健医療大学設置認可
平成 27(2015)年 4 月	長野保健医療大学開学 保健科学部リハビリテーション学科開設
平成 29(2017)年 4 月	長野市立川中島保育園運営受託
平成 30(2018)年 3 月	長野医療技術専門学校閉校

平成 31(2019)年 4 月	長野保健医療大学に看護学部看護学科を開設
平成 31(2019)年 4 月	川中島保育園施設移管（私立保育所として運営開始）
令和 2(2020)年 10 月	長野保健医療大学附属リハビリテーションクリニックを長野保健医療大学附属整形外科リハビリクリニックに名称変更
令和 3(2021)年 4 月	長野保健医療大学に大学院保健学研究科を開設
令和 4(2022)年 9 月	校歌制定
令和 5(2023)年 3 月	川中島保育園閉園
令和 5(2023)年 4 月	幼保連携型認定こども園川中島こども園開園

(3) 設置する学校・学部・学科等

【長野保健医療大学】

大学院保健学研究科保健学専攻（修士課程）

保健科学部リハビリテーション学科 理学療法学専攻・作業療法学専攻

看護学部看護学科

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況（各年度 5 月 1 日現在）

	年度	入学定員	入学者数	入定 充足率	収容定員	現員	収定 充足率
保健科学部	R2	80	81	1.01	320	340	1.06
	R3	80	99	1.23	320	356	1.11
	R4	80	93	1.16	320	358	1.11
	R5	80	86	1.07	320	347	1.08
看護学部	R2	80	82	1.02	160	166	1.03
	R3	80	94	1.17	240	259	1.07
	R4	80	73	0.91	320	331	1.03
	R5	80	79	0.98	320	325	1.01
大学院	R4	8	3	0.37	16	7	0.43
	R5	8	3	0.37	16	8	0.50
学部 計	R5	160	165	—	640	672	—
大学 総計	R5	168	168	—	656	680	—

平均入学定員充足率

保健科学部	1.11	看護学部	1.02
-------	------	------	------

(5) 役員概要 (令和6年3月31日現在)

理事 定数5人以上8人以内 現員8人

監事 定数2人 現員2人

区分	氏名	就任年月
理事長	北澤 俊美	平成24年3月
副理事長	北澤 竜二	平成24年3月
理事	笠原 甲一	平成13年2月
理事	高澤 通泰	令和3年4月
理事	田中 英弥	平成31年1月
理事	田中 榮司	令和5年7月
理事	金物 壽久	令和2年10月
理事	青柳 郁生	令和3年4月
監事	北澤 英男	平成13年2月
監事	内田 雄治	令和3年4月

(6) 評議員概要 (令和6年3月31日現在)

定数11人以上18人以内 現員16人

(7) 教職員の概要 (令和5年5月1日現在)

大学		人数計	性別		年齢構成					
			男	女	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
専任教員	学長	1	1							1
	副学長	3	3						1	2
	教授	14	8	6				3	9	2
	准教授	8	2	6			2	2	4	
	講師	11	3	8			3	4	4	
	助教	15	6	9		4	3	7	1	
	助手	1		1	1					
	計	53	23	30	1	4	8	16	19	5
兼任教員		131								

基準 大学全体10人、保健科学部14人、看護学部12人 計36人
(教授の基準 18人)

専任教員一人当たりの学生数(保健科学部) 13.9人

専任教員一人当たりの学生数(看護学部) 13.0人

大学院		人数計	性別		年齢構成				
			男	女	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
専任教員	研究科長	1	1						1
	研究指導教員	12	7	5		1	2	6	3
	研究指導補助教員	1		1				1	
	計	14	8	6	0	1	2	7	4
	科目担当教員	4							
兼任教員		11							

基準 12人
(研究指導教員の基準 6人)

大学全体の職員数 25人

II 事業の概要

(1) 中期計画に掲げる事業の概要

1 教育体制の整備

- ・大学院では大学院担当教員資格認定基準を満たす学部教員の審査を進め、昨年度の教員 13 名体制から 14 名体制に充実させるとともに、特に専門性が高い研究課題への対応として、特任教授が研究指導を補佐する体制を整備した。
- ・保健科学部では今年度末の退職者の補充として本学大学院修了者の採用を決定したことで、教育体制の維持とともに、大学院設置の目的である保健学に習熟した教育人材の育成を具現化した。看護学部では体制は維持されているが、実習施設側からの要望である「1 病棟につき教員 1 名常置」に対応できていない状況であり、今後の課題である。
- ・大学院及び学部において 3 つのポリシー（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）の関連付け、2 学部の科目区分の統一などを行い、教育体系図を整理した。
- ・今年度で IPE 関連科目の実施が 2 回目となり、各科目とも円滑に行われるようになった。今後は、カリキュラム改正により令和 7 年度に新規開講する科目や令和 8 年度に閉講となる科目があり教育内容が変更されるが、これまでの経緯を踏まえて、新たなカリキュラム作成に向けて、大学全体として IPE 推進に向けた取組が必要である。
- ・保健科学部では全ての実習施設に臨床実習指導者講習会の修了者が在籍することを目標として取り組み、理学療法学専攻では 141 施設中 8 施設が修了者なし、作業療法学専攻では 144 施設全てに修了者が在籍しており、実習実施のための指導者数は充足されている状態である。
- ・名誉教授の称号を 1 名に授与。
- ・卒業・学位授与の状況

学士（理学療法学）	36
学士（作業療法学）	34
学士（看護学）	80
学部合計	150
修士（保健学）	3

- ・国家試験の結果

	実施日	受験者数	合格者数	合格率	全国の合格率
第 59 回理学療法士	R6.2.18	36	36	100.0%	89.2%
第 59 回作業療法士	R6.2.18	33	31	93.9%	84.1%
第 113 回看護師	R6.2.11	80	74	92.5%	87.8%
第 110 回保健師	R6.2.8	40	37	92.5%	95.7%

理学療法学専攻は目標値である 100%合格を 2 年連続で達成した。作業療法学専攻は目標値には至らなかったが、合格率 93%の結果は、少なくとも受験生、保護者から一定の大学評価を得られるものとする。両専攻とも常に 100%の合格率を維持できるよう、個々の学生に合わせたグループ学修・個人学修の実施及び模擬試験結果などを踏まえた個別面談などの学生支援を継続する。看護学科は目標値に至らず保健師においては全国平均を下回る結果となった。今年度の合格者の状況から、特に 12 月～1 月の時期に成績の上昇が見られない学生に対する特別支援が課題である。今年度の看護師国家試験の出題傾向はこれまでと大きく異なっており、全国模試については 1 社のみでなく数社からの出題に慣れていく必要がある。次年度に向けて全国模試の回数や質を吟味し、適切に対応していく。

- ・ 国家試験合格者のうち医療機関への就職を希望する者の就職率 100%

2 教育環境の整備

- ・ 整形外科リハビリクリニック所有の第 2 リハビリテーション室を大学所有へ変更し、指定規則に定める「レクリエーション室」として常時利用を開始した。
- ・ 図書館が学術情報基盤としての役割を担う中核施設として更にステップアップしていくために、①学修支援・研究支援の充実、②利用環境、施設・設備の整備、③地域社会への貢献、④図書館運営体制の 4 つの観点から見直しを行い、今後 10 年を見据えた「図書館整備基本計画」を策定した。
- ・ 本学独自の奨学金として、新入生を対象とする「兄弟姉妹入学金減免」を新設し、令和 6 年度入試から適用した。
- ・ 危機管理の基本方針及び危機管理体制を定めた「長野保健医療大学危機管理規程」を制定すると共に、当規程の下に「長野保健医療大学業務継続計画」を制定し、災害や感染症等の緊急事態発生時の対応手順を整備した。
- ・ 喫煙による健康被害を防止するため「健康増進法に定める第一種施設である大学として、敷地内禁煙の法定原則を遵守し、法の趣旨である「望まない受動喫煙」をなくすために必要な措置を講ずるとともに、周囲の迷惑になる喫煙は厳に指導する」ことを基本方針に定め、分煙室の廃止、次年度からの

学生への禁煙教育を計画した。

- ・本年度をもって本館エアコン空調更新 3 年計画を遅滞なく完遂した。

3 研究の推進

- ・科学研究費助成事業、厚生労働行政推進調査事業及び企業との共同研究として、本学教員を研究代表者とする研究 3 件、研究分担者とする研究 4 件に対して研究費が交付された。令和 6 年度の科研費募集に対しては 8 件申請し 2 件が採択された（うち 1 件は辞退）。学内公募研究費は新規 2 件を採択した。
- ・大学院生勉強会の毎月開催を開始し学部生にも公開した。院生の論文発表会についても広く周知し、学部生及び教職員の参加を奨励した。

4 同窓会組織の確立

- ・同窓会との共催による生涯学習講座を以下のとおり開催（オンライン併用）。

講座区分	テーマ	参加人数
教養講座	一酸化炭素の生理作用と医療への応用	26 人
専門講座	認知症高齢者との関わりについて	44 人
専門講座	やってて良かった IPW！ Let's 多職種連携	17 人
専門講座	災害時リハビリテーション 関わり方と長野 JRAT の今後の取り組み	20 人

5 地域との連携強化

【協定締結状況】

長野県長野市

長野県飯山市

長野県議会

川中島町住民自治協議会

長野市立長野高等学校

長野県内 11 大学（高等教育コンソーシアム信州）

社会福祉法人信濃整肢療護園（稲荷山医療福祉センター）

ながの観光コンベンションビューロー

一般社団法人サキベジ推進協議会

- ・連携協定に基づき実施した主な事業（長野市立長野高校関係は別表に記載）

連携先	事業	備考
長野市	NAGANO 体力・健康チェックキャラバン	教員、学生が年 2 回参加
長野市	放課後子ども総合プランアドバイザー	学生が年 7 回参加
長野市	就業体験（インターンシップ）	保健師課程学生が参加
長野市	上水内郡北部地域内小中学校職員研修会 「自己肯定感を高める支援やかかわり」	本学教員による講演
飯山市	基本チェックリスト報告会	データ整理報告
川中島自治協	体力測定会	年 2 回開催

- ・長野市立長野高校との連携事業

	内容	対象者	担当講師
出前授業	第 1 クール 英語 第 2 クール 生理学 第 3 クール 医療	医療系大学、専門学校入学予定者	本学教員
入学前教育	第 1 回 国語、英語 第 2 回 理科、英語	本学への入学予定者	市立長野高校教員 本学教員

- ・各種団体が開催する講習会等に本学教員を講師として派遣（80 件）。

6 財政基盤の強化

- ・外部研究資金として、文部科学省の科学研究費助成事業 5 件、厚生労働行政推進調査事業 1 件及び企業との共同研究 1 件について研究費が交付された。
- ・エアコン空調機の更新に係る先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金が交付された。

7 情報公開、広報活動の推進

- ・2023 年度のオープンキャンパスは来学型 6 回を実施し、1071 人の参加者を得た（前年 986 人）。

また、高校内説明会及び学校見学会等は 146 回実施した（前年 152 回）。

- 学部の入学試験結果は別表のとおり。募集活動については、フェイスブックやInstagramなどの SNS を活用した広報やテレビ CM、長野駅前ビジョン、しなの鉄道車内ステッカーなど幅広く広報活動を行った。6 月、7 月のオープンキャンパス参加者数は昨年度に比べ少ない状況となり、8 月以降のオープンキャンパスでは大幅に増加に転じたが、結果として両学部ともに出願者が昨年を下回り（第一志望の出願者数で保健科学部は前年比 85%、看護学部は前年比 94%）、保健科学部は定員を超える入学者数を確保できたが、看護学部は定員に達しなかった。次年度はホームページの全面リニューアル、web 広告の掲出、オープンキャンパス日程の見直しなどに取り組み、受験者数の増加を図る。
- 大学院は入学定員 8 名に対して 2 名の入学となり、広報活動の十分な成果は得られなかった。令和 4 年度に制定した奨学金制度により、本学卒業生が入学した場合の授業料は国公立大学院と遜色ない水準になるため、学部生への積極的な広報を展開する。
- 小中学生への職業理解教育として、長野市のモデル事業（みらいハッケンプロジェクト）を活用した体験活動及び中学生の職場体験の受け入れを実施した。小中学校の段階から医療に関わる職業を正しく理解されるよう、次年度も取り組みを推進する。

保健科学部リハビリテーション学科

理学療法学専攻：入学定員40名

試験区分	募集人員	試験日	出願総数	受験者総数 (a)	合格者 (b)	うち第2・3 志望合格	追加合格者	倍率 (a)/(b)	入学者	(うち女子)
学校推薦型選抜指定校制	計20	11月18日	12	12	12	0	0	1.0	12	4
学校推薦型選抜公募制		11月18日	23	23	15	0	0	1.5	15	7
総合型選抜自己推薦方式		12月16日	11	11	7	0	0	1.6	6	2
一般選抜Ⅰ期	12	2月3日	34	34	13	0	0	2.6	8	5
一般選抜Ⅱ期	4	2月23日	7	4	1	0	0	4.0	1	0
一般選抜Ⅲ期	若干名	3月13日	募集無し					---	0	0
一般選抜共通テスト利用Ⅰ期	4	1月13日	43	43	15	0	0	2.9	4	1
一般選抜共通テスト利用Ⅱ期	若干名	1月14日	2	2	0	0	0	---	0	0
社会人選抜Ⅰ期	若干名	11月18日	0	0	0	0	0	---	0	0
社会人選抜Ⅱ期	若干名	12月16日	0	0	0	0	0	---	0	0
社会人選抜Ⅲ期	若干名	2月3日	0	0	0	0	0	---	0	0
合計	40		132	129	63	0	0	2.4	46	19

作業療法学専攻：入学定員40名

試験区分	募集人員	試験日	出願総数	受験者総数 (a)	合格者 (b)	うち第2・3 志望合格	追加合格者	倍率 (a)/(b)	入学者	(うち女子)
学校推薦型選抜指定校制	計20	11月18日	7	7	7	0	0	1.0	7	5
学校推薦型選抜公募制		11月18日	19	19	10	1	0	1.9	10	9
総合型選抜自己推薦方式		12月16日	14	14	7	1	0	2.0	6	4
一般選抜Ⅰ期	12	2月3日	32	32	13	4	0	2.5	8	6
一般選抜Ⅱ期	4	2月23日	6	4	3	3	0	1.3	3	1
一般選抜Ⅲ期	若干名	3月13日	0	0	0	0	0	---	0	0
一般選抜共通テスト利用Ⅰ期	4	1月13日	35	35	18	8	0	1.9	2	1
一般選抜共通テスト利用Ⅱ期	若干名	1月14日	1	1	1	0	0	1.0	1	1
社会人選抜Ⅰ期	若干名	11月18日	0	0	0	0	0	---	0	0
社会人選抜Ⅱ期	若干名	12月16日	0	0	0	0	0	---	0	0
社会人選抜Ⅲ期	若干名	2月3日	0	0	0	0	0	---	0	0
合計	40		114	112	59	17	0	2.1	37	27

リハビリテーション学科合計			246	241	122	17	0	2.2	83	46
---------------	--	--	-----	-----	-----	----	---	-----	----	----

看護学部看護学科：入学定員80名

試験区分	募集人員	試験日	出願総数	受験者総数 (a)	合格者 (b)	うち第2・3 志望合格	追加合格者	倍率 (a)/(b)	入学者	(うち女子)
総合型選抜A0方式	8	9月26日	12	12	12	0	0	1.0	11	6
学校推薦型選抜指定校制	計32	11月18日	25	25	25	0	0	1.0	25	19
学校推薦型選抜公募制		11月18日	12	12	11	0	0	1.1	11	8
総合型選抜自己推薦方式		12月16日	17	16	12	0	0	1.3	9	7
一般選抜Ⅰ期	24	2月3日	36	36	30	0	0	1.2	15	13
一般選抜Ⅱ期	8	2月23日	4	3	1	0	0	3.0	0	0
一般選抜Ⅲ期	若干名	3月13日	3	3	2	0	0	1.5	0	0
一般選抜共通テスト利用Ⅰ期	8	1月13日	46	46	40	1	0	1.2	3	3
一般選抜共通テスト利用Ⅱ期	若干名	1月14日	4	4	4	0	0	1.0	3	3
社会人選抜Ⅰ期	若干名	11月18日	0	0	0	0	0	---	0	0
社会人選抜Ⅱ期	若干名	12月16日	0	0	0	0	0	---	0	0
社会人選抜Ⅲ期	若干名	2月3日	0	0	0	0	0	---	0	0
合計	80		159	157	137	1	0	1.2	77	59

保健科学部・看護学部総合計			405	398	259	18	0	1.7	160	105
---------------	--	--	-----	-----	-----	----	---	-----	-----	-----

※出願者・受験者には第2・3志望者も含む

※倍率は指定校推薦を除く